シネマズライフ

2019年3月1日発行 第159号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 涼音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】『12か月の未来図』問題満載郊外の学校に赴任したかたぶつ教師が気が付いたほんとの教師としてのお仕事とは？子供の未来図を作るのはやはり大変！

【最近のこれはまずいぞ！】『記者たち 衝撃と畏怖の真実』中々の力作なようだが、後半の〈衝撃と畏怖〉はオーバーな気がする。

映画の風景 日本の風景

浄土寺門前地蔵堂

← 浄土寺門前地蔵堂

『豆富小僧』という映画があった。こんな映画だ。

妖怪が、自由に生きていた頃の日本。

豆富小僧は、小さなお盆に豆腐を乗せて人間を脅かす妖怪。でも、あまりにもかわいすぎて人間は怖がらない。それが父親の見越し入道のお悩みの種だった。ついに、豆富小僧は叱られて家出！そんな豆富小僧を誘惑するのが、妖怪達のライバル・狸達。おっかさんを探す豆富小僧を騙し、村のお堂に閉じ込めてしまう。時が経ち豆富小僧はやっと解放されたが、現代では世界を支配しようとする狸が夏近（はびこ）っていた。かつての仲間の妖怪達の居場所もわからず、懸命に探す豆富小僧。しかし、そう簡単に見つかる訳もなく、大きなビル、行き交う車に驚くばかり。やがて豆富小僧は唯一彼が見える少女・アイに出会う。アイの母親は新しい気象システム（SORA）を作っているが、研究に没頭しすぎて最近はアイとあまり遊ばないのでそれが不満だった。

そんな中、豆富小僧は人間を操って狸の天下にしようとする【芝居者狸】の陰謀を知ります…。

大阪・枚方市にある門前地蔵堂。はるか昔からお祀りされている地蔵菩薩は、安産を願い子供達の無事安泰を願うお地蔵さま。今でも多くの人々が訪れるという。

豆富小僧も長い間お堂に閉じ込められ、現代に解放される。時代の激しい流れにただただ驚くばかりだが昔から潜む怪しい狸と戦う。狸の陰謀は昔から変わらない。そして、平和を願う豆富小僧の願いも変わらないのだ。

『豆富小僧』2011年日本 監督 脚本：杉井ギサブロー 監督：河原真明 脚本：青木万央 藤井清美 原作：京極夏彦
出演：深田恭子 武田鉄矢 小池徹平 大泉洋 宮迫博之 平野綾 はるな愛 檀れい 松平健

7号の作品評を一部書き直しました。m(_)m

豆富小僧の声は今や演技派女優深田恭子。その声がなんともかわいらしくこの作品の魅力の一つとなっている。昔も今も世の中を乱す者はいるものこの映画では狸です。

コラム

平成も、もう終わりなのねという件

もうすぐ平成の時代が終わる。

日本の歴史を語るに、必ず語られるのは《昭和》《大正》《明治》をつけると、私のような昔の人間にはとてもわかりやすい。しかし、《平成》といえば何を思い出せばいいかわからない。

が・よく調べてみると実は結構いろいろな事があった。

【湾岸戦争の勃発（平成2年）】
【アメリカ同時多発テロ】
【阪神淡路大震災（平成7年）】
【オウム真理教による地下鉄サリン事件（平成7年）】
【バブル景気からバブル崩壊（平成13年）】
等々…。

歴史というより、自分のリアルに起こったが、さして気にならないのは、【阪神淡路大震災（平成7年）】も、個人的にはあまり被害が少なかったが、衝撃だったのは平成30年に起こった大阪府北部地震と台風7号で、地震は揺れは凄かったが被害少なかったが、台風7号の方が隣家からの瓦が飛んできたりして、修理に半年かかり大変だった。

人間とは、自分の身に被害がない限りあまり気にならない。実に勝手な生き物だと思う。

次の年号はまだ決まっていない。しかし、次の年号も多くの事件は《年号》と共に思い出す。

そんな事ができる国があってもいいと思うのだが…。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

画像はフォトライブラリーから使用にさせていただきました。m(_)m

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認お願いします。

『猿の惑星』

ザ・シネマ

1968年 アメリカ
監督:フランクリン・J・シャフナー
原作:ピエール・ブール 特撮:L・B・アボット
出演:チャールトン・ヘストン キム・ハンター ロディ・マクドウォール
モーリス・エバンス リンダ・ハリソン ジェームズ・ホイットモア

3月2日(土)21:00
3月3日(日)12:00
3月3日(日)21:00 (吹)
3月7日(木)13:00 (吹)
3月7日(木)21:00
3月9日(土)9:45

アメリカ・ケネディ宇宙センターから宇宙船に女性を含めた4人の船員を乗せ飛び立った。船中では人工冬眠に入った。突然、宇宙船が未知の惑星の池に不時着し、船員達は冬眠から目覚めるが女性船員は死亡していた。とりあえず、船から脱し助かった三人は地球とそっくりな惑星を探索する事に。池から出発すると砂漠に遭遇。そこを抜けると大きな森があり、なんと人間がいた。しかし、人間達は言葉がしゃべれず動物のような生活をしていた。驚くテイラー達だったがもっと驚愕する事を目撃する…。猿が人間達を狩っていたのだ…。

公開当時、ラストまで驚きの連続で大ヒット。いまだに新作が作られるシリーズになった。

でも、本当に人間がこうならないように祈ってしまうのは…なぜ？

『マイレージ、マイライフ』

WOWOW

2009年 アメリカ
監督 脚本:ジェイソン・ライトマン
脚本:シェルダン・ターナー
原作: ウォルター・キルン
出演:ジョージ・クルーニー ヴェラ・ファーミガ
アナ・ケンドリック サム・エリオット

3月13日(水)21:00 【シネマ】
3月29日(金)15:00 (吹) 【プライム】
4月23日(火)9:15 【シネマ】

人事コンサルタント会社で働くライアンは、社員を解雇したい会社からの依頼で社員にリストラを宣告する仕事。その社員とは初対面で、しがらみなしで宣告できる彼はアメリカ中を飛行機で飛び回っていた。

彼の楽しみは自分の持つ《マイレージ》が溜まる事。1000万マイル達成すると彼は最年少で〈1000万マイル〉貯めた人間になるのだ。間近に迫ったその日をライアンは楽しみにしていた。

そんな頃、独身で気楽に暮らす彼と同じ考えを持つ女性・アレックスと出会い意気投合する。そんなある日、会社から新入社員のナタリーの教育係を命じられる…。

しかし、気楽に生きているように見えるライアンだが、やはり生きている人間は“しがらみ”から逃れられない。さて、彼はそれに気が付くのでしょうか？

「英国王のスピーチ」

2010年 イギリス オーストラリア
製作：ジェフリー・ラッシュ 他
監督：トム・フーパー

出演：コリン・ファース
ヘレナ・ボナム・カーター
ジェフリー・ラッシュ

20世紀初頭。イギリス、国王ジョージ5世の次男・ヨーク公アルバート王子は、大英帝国博覧会閉会式でスピーチを行ったが、クセともいえる吃音症の為大失敗。国民もがっくりするが、自身もショックだった。

そこで、言語聴覚士を何人も訪ねるが、アルバートはことごとく失敗する。

そこでアルバートはスピーチ矯正の専門家・ローグを訪ねる。

ローグは、オーストラリアで第一次世界大戦で【戦闘神経症】で苦しむ兵士達の治療に当たり、後にイギリスに移り開業していた。評判を聞いたアルバートの妻・エリザベス妃の薦めで訪れたのだ。しかし、ローグの治療は独特でアルバートは納得できないが、ジョージ5世は彼に過度な期待を寄せており治療の為ローグの元に通う事に。

やがて、ジョージ5世が亡くなり兄がエドワード8世として即位。ところが新王はシンプソン夫人との恋愛問題で揉めており、その事に関してローグの失礼なものいいにアルバートは立腹。ローグの治療を中止する。

だが、1年足らずでエドワード8世は退位。アルバートがジョージ6世として即位する事になってしまう…。

現イギリス女王・エリザベス2世の父・ジョージ6世の秘話を映画化。

多くの人は国王になってみたいと思うだろうが、ジョージ6世はマジで嫌だったようだ。先日見た『女王陛下のお気に入り』のアン女王もそうだが、《君主はつらいよ》という副題がつけてもいいかもしれない。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！ 貴樹諒音

☆次回発行は3月15日です。今月の発行予定は第1・3金曜日です。

シネマズライフ159号
発行人：貴樹諒音
発行日：2019年3月1日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

皆さまお体お大事に かしこ

【編集後記】

☆去年の6月に大阪に来た台風の為に、屋根に瓦が乗ってしまい業者さんが屋根に登っても、見えにくい場所にあったらしく、なかなか取ってくれなかった。

去年の暮、しつこく電話をかけやっと取ってもらった。飛んで来た屋根の瓦を取り除くのに半年もかかってのだ。

しかし、近隣を歩くとまだブルーシーツがかぶっている屋根もあり、台風の被害のすごさにあらためて驚く。

今年の台風も、大きいそうだ。被害は最小限にとどめてほしいものだと思うのだ。

シネマズライフーcinemaz-lifeー １５９号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《ＷＯＷＯＷ》
『マイレージ、マイライフ』
《ザ･シネマ》
『猿の惑星』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※
感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。
cinemaz-life@movie.nifty.jp
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト